

令和8年

1月

蒜山自然再生協議会

事務局だより

風の便り

第5号

発行日：2025.12.25

蒜山自然再生協議会
事務局

hiruzen.nature.restoration.mit22@gmail.com

令和7年9月にVol.1を発行した「風の便り」も早いもので今回でVol.5となり、令和8年1月号となりました。ご覧いただいているみなさまからも少しずつご感想などいただけるようになり感謝しております。vol.1発行時の9月以前には協議会がどんな活動をしていたの？という疑問にお応えすべく、令和7年蒜山自然再生協議会の一年をざっくりと振り返ってみたいと思います。（※この他にも色々なことをしています）令和8年もどうぞよろしくお願いいたします（大畑）

4月



鳩ヶ原山焼き

5月



ユウスゲの植栽

6月



サクラソウ自生地草刈

7月



鳩ヶ原草刈

8月



小内海谷湿原調査

9月



センサーカウンター設置

10月



ひるぜんネイチャーウィーク

11月



天谷・津黒湿原保全作業

12月



茅刈体験・防火帯づくり

周年
(長期間)
実施活動



登山道整備イベント




巡視・登山道モニタリング



登山道支障箇所対応


蒜山自然再生協議会 会長・事務局のひとたち

いまさらな気も致しますが、運営の中心となっている会長・事務局員はどんな人たちなの？という疑問にお応えすべく、会長と3名の事務局員について改めてご紹介したいと思います。周囲の方々からは、癖が強いといわれますが、そんな事は全くないと感じている4人です。




かいちょー
ひおきセンサー（日置佳之）

蒜山の他、鳥取市、東京都、栃木県などにも隔離分布。湿原を好むが、草原や森林にも出没する。都市にも生息可能だが長期的に住むことはない。劣化した小さな湿原を自ら修復して生息場所を確保している。さまざまな交通手段を駆使してしばしば長距離を移動する。雑食でとくに嫌いなものはないが、硬骨魚類だけは苦手。




ちぶちぶ（千布拓生）

佐賀で誕生し、若鳥の時期は全国を飛び回った。近年は蒜山の東茅部や三木ヶ原、鳩ヶ原に出没するが、本来、草原や湿原、森林など様々なタイプの自然を好む。食性は鮮度の良い生魚や焼き肉を好み、特に酢飯と生魚の組み合わせは最上。草原や湿原、森林などの自然や田畑などの人の生業を俯瞰するのが好き。



ケイさん（高橋 慧）

以前は四国の瀬戸内海側の比較的温暖な地域でよく見られたが、現在は確認できなくなった。最近、これまでみられなかった鳥取県や岡山県北部の蒜山地域で確認された。全長は150cm程度。鳩ヶ原の草原や湿原で何かを観察しており、たまに沢や溝にはまっている様子がみられる。動きが遅い為、捕まえるのは容易。



オーハタ（大畑良平）

蒜山の大蛇集落付近に生息。主に蒜山三座や三平山～朝鍋鷲ヶ山などの低山～亜高山帯でみられる。久世周辺地域での目撃はまれ。春から秋にかけて背負子を担ぎ、登山道を整備している。主食は米だが、特に餅を好む。米のエキ스는飲まない。野鳥の行動をよく眺めている。

蒜山フィールドミュージアム
スノーシューツアー

2月中旬
実施予定



次号にて詳細をお知らせします！

風の便りで紹介したい・ご報告したい地域活動やご意見・ご感想などは随時募集しています。

また、地域の自然環境保全に関するご相談（湿地の再生や登山道の整備、調査、その他）についても表面タイトル横のアドレスまでお知らせください。（すべての案件にご対応できない可能性があります）



風の便りバック
ナンバーはこちら